



## 平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年7月30日

上場会社名 株式会社みんなのウェディング 上場取引所 東  
 コード番号 3685 URL <http://www.mwed.co.jp>  
 代表者（役職名）代表取締役社長兼CEO（氏名）飯尾 慶介  
 問合せ先責任者（役職名）取締役CFO兼コーポレート本部長（氏名）新井 普之 TEL 03 (3549) 0260  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成26年9月期第3四半期の業績（平成25年10月1日～平成26年6月30日）

#### （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	1,094	—	255	—	231	—	139	—
25年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり	潜在株式調整後
	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	21.62	20.06
25年9月期第3四半期	—	—

- （注）1. 当社は平成25年9月期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年9月期第3四半期の数値及び平成26年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 当社は平成25年11月19日付で、普通株式1株につき3,000株の割合で株式分割を行っております。このため、平成26年9月期第3四半期の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が当事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第3四半期	3,312	3,113	94.0
25年9月期	536	350	65.3

（参考）自己資本 26年9月期第3四半期 3,113百万円 25年9月期 350百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	—	—	0.00	0.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年9月期の業績予想（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	当期純利益 円 銭
通期	1,636	61.8	506	188.8	492	179.9	305	177.9	46.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年9月期3Q	7,584,300株	25年9月期	4,176,000株
② 期末自己株式数	26年9月期3Q	－株	25年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年9月期3Q	6,471,476株	25年9月期3Q	－株

(注) 1. 当社は、平成25年9月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、「期中平均株式数」を記載していません。

2. 当社は平成25年11月19日付を効力発生日として、普通株式1株につき3,000株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3. 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、個人消費は弱めとなっているものの、一部に持ち直しの動きも見られるようになり、また、設備投資の増加が見られるなど企業収益は改善が見られ、雇用・所得環境の改善や緩やかな金融環境などに支えられて景気は底堅く推移しております。一方、世界の景気は金融緩和縮小による影響、一部の新興国経済の先行きなどについて不確実性が見られるものの、緩やかに回復しております。

当社を取り巻くインターネット業界においては、インターネットの普及により、ソーシャルメディアやCGM (Consumer Generated Media) サイトといった「消費者発信型メディア」が拡大しております。消費者の購買行動は、商品やサービスの供給側からマスメディア経由で発信された情報に基づくものから、インターネットで情報を比較検討した上で商品やサービスを購入し、その後ブログやSNS (ソーシャルネットワーキングサービス) に口コミを投稿して情報を共有し、拡散する形へと変化しております。

このような環境の中、当社では「結婚式を生涯最高の思い出にしたい」と願う花嫁・花婿に対して、結婚式場の口コミや多様化する結婚式に合わせた情報の提供など、ウェディングに係る情報提供サービスの構築と強化、従来の形にとらわれない自由で新しい結婚式のプロデュースに取り組んでおります。

当第3四半期累計期間において、ユーザーの裾野を広げる商品改定を行うとともに、有料掲載結婚式場の積み上げに取り組み、また、花嫁・花婿が願う結婚式のプロデュースの認知度の向上、展開を推し進めました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,094,378千円、営業利益は255,840千円、経常利益は231,077千円、四半期純利益は139,940千円となりました。

当社は単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしておりません。事業ごとの取り組みは以下のとおりであります。

#### (みんなのウェディング事業)

平成25年6月にクライアントへの機能提供を拡充しベース価格を引き上げ、また、ユーザーが当社のウェブサイトで起こしたアクションに応じて課金する仕組みを契約に盛り込む価格体系に商品改定しましたが、引き続き当第3四半期会計期間ではこの商品の販売・転換を促進しました。価格上昇による影響もあり、契約更新をしなかったクライアントも一部あったものの、新規獲得は堅調に推移し、平成26年6月末現在、有料掲載結婚式場数(「みんなのウェディング」サイトに掲載している結婚式場のうち当社と契約している結婚式場の当該月末の件数)は1,305件となりました。なお、アクションに応じた実際の課金は平成26年10月から開始します。

平成26年4月より「イオンウェディング幕張新都心店」に当社のアドバイザーが常駐するなど株式会社ツヴァイとの連携を深めております。

平成26年6月には、結婚式場向け口コミ分析ツール「みんなの口コミ分析」をユーザーに見られた口コミを分析できるようリニューアルし、クライアントが、より効率的な集客や成約につなげられる機能に改定しました。

また、これから結婚式を挙げようとしている花嫁・花婿のみならず、未来の花嫁・花婿の当社運営サイトへのアクセスを取り込むべく、コンテンツ(結婚式参列時のマナー、恋愛コラムなど)の充実を図り、月間ユニークユーザー数(当該月に「みんなのウェディング」サイトにアクセスしたユーザーの数(延べ人数ではありません))は2,700千人(平成26年6月)となりました。

なお、相対で結婚式場の紹介を行う「みんなのウェディング相談デスク」は、従来その他事業に含めておりましたが、インターネットでウェディングに係る情報提供を行うみんなのウェディング事業との補完性、関連性が増しているため、当第3四半期会計期間より、みんなのウェディング事業に含めております。

#### (その他事業)

ウェディングプランナーを採用するなどして当社が主体となって結婚式のプロデュースを行い、よりユーザーが理想とする結婚式の実現を支援する取り組みを行っており、また、企業等とタイアップするなどして場所に捉われないオリジナリティある結婚式の浸透を図っております。このように花嫁・花婿が願う自由で新しい結婚式のプロデュース展開を行い、施行件数も堅調に増加しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は3,312,462千円となり、前事業年度末に比べ2,776,210千円増加いたしました。これは主に、新規上場に伴う公募増資を実施したことなどによる現金及び預金の増加が2,700,546千円あったこと、売上高の増加に伴う売掛金の増加が69,178千円あったことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は198,681千円となり、前事業年度末に比べ12,465千円増加いたしました。これは主に、買掛金の増加が5,584千円あったことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は3,113,781千円となり、前事業年度末に比べ2,763,745千円増加いたしました。これは新規上場に伴う公募増資を実施したこと、および新株予約権の行使により資本金の増加が1,311,902千円、資本剰余金の増加が1,311,902千円あったこと、四半期純利益の計上により利益剰余金の増加が139,940千円あったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の業績予想につきましては、平成26年3月25日付の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想につきましては、当該資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合は、速やかに開示を行います。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	216,265	2,916,812
売掛金	131,763	200,942
たな卸資産	565	2,190
その他	19,157	23,448
貸倒引当金	△2,685	△8,813
流動資産合計	365,067	3,134,579
固定資産		
有形固定資産	12,297	10,929
無形固定資産		
ソフトウェア	107,379	112,417
その他	17,631	15,655
無形固定資産合計	125,011	128,072
投資その他の資産		
その他	34,065	39,473
貸倒引当金	△189	△592
投資その他の資産合計	33,876	38,881
固定資産合計	171,184	177,883
資産合計	536,251	3,312,462
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,929	12,514
未払金	69,048	65,304
未払法人税等	69,541	65,056
ポイント引当金	3,784	3,146
資産除去債務	—	2,454
その他	33,858	49,572
流動負債合計	183,161	198,048
固定負債		
資産除去債務	3,053	632
固定負債合計	3,053	632
負債合計	186,215	198,681
純資産の部		
株主資本		
資本金	123,740	1,435,642
資本剰余金	111,417	1,423,319
利益剰余金	114,878	254,819
株主資本合計	350,035	3,113,781
純資産合計	350,035	3,113,781
負債純資産合計	536,251	3,312,462

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	1,094,378
売上原価	225,494
売上総利益	868,884
販売費及び一般管理費	613,044
営業利益	255,840
営業外収益	
受取利息	56
講演料等収入	50
その他	125
営業外収益合計	232
営業外費用	
株式交付費	10,159
株式公開費用	14,835
営業外費用合計	24,994
経常利益	231,077
税引前四半期純利益	231,077
法人税、住民税及び事業税	93,786
法人税等調整額	△2,649
法人税等合計	91,136
四半期純利益	139,940

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年3月25日付で東京証券取引所マザーズに上場し、公募増資による払込を受け、新株式850,000株の発行を行いました。また、野村證券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出し（貸株人から借入れる当社普通株式の売出し）に関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式167,300株の発行を行いました。さらに、新株予約権の行使により、新株式81,000株の発行を行いました。

その結果、当第3四半期累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,311,902千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が1,435,642千円、資本剰余金が1,423,319千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は結婚関連情報提供事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、平成26年7月30日開催の取締役会において、以下のとおり子会社を設立することを決議いたしました。

1. 設立の目的

当社は、結婚式場のロコミサイト運営事業及び結婚式プロデュース事業を展開しておりますが、今般、子会社を設立し、これらの事業に関連する物品等を既存ユーザー及び潜在ユーザーに対して提供してまいります。これにより、ウェディング市場の深堀りを行っていくと同時にユーザーの裾野を広げ、相互に関連していくことでグループ全体の業容拡大を図ってまいります。

2. 子会社の概要

(1) 名称	株式会社フォーオール
(2) 所在地	東京都中央区銀座三丁目15番10号
(3) 代表者	代表取締役社長 飯尾 慶介
(4) 事業内容	インターネット等による物品販売事業等
(5) 資本金	10,000千円
(6) 設立年月日	平成26年8月8日（予定）
(7) 決算期	9月30日
(8) 出資比率	当社 100%